



11:1 さて、使徒たちとユダヤにいる兄弟たちは、異邦人たちが神のこぼれを受け入れたことを耳にした。

11:2 そこで、ペテロがエルサレムに上って来たとき、割礼を受けている者たちが、彼を非難して、

11:3 「あなたは割礼を受けていない者たちのところに行って、彼らと一緒に食事をした」と言った。

11:4 そこで、ペテロは彼らに事の次第を順序立てて説明した。

11:5 「私はヤッファの町で祈っていました。すると、夢心地になり、幻を見ました。大きな敷布のような入れ物が、四隅をつり下げられ、天から降りて来て、私のところに届いたのです。

11:6 その中をよく見ると、地の四つ足の動物、獣、這うもの、空の鳥が見えました。

11:7 そして、『ペテロよ、さあ、屠って食べなさい』と言う声を聞きました。

11:8 しかし私は、『主よ、そんなことはできません。私は、きよくない物や汚れた物を、まだ一度も口に入れたことはありません』と言いました。

11:9 すると、もう一度天から声が返って来ました。『神がきよめた物を、あなたがきよくないと言ってはならない。』

11:10 このようなことが三回あって、すべての物が再び天に引き上げられました。

11:11 すると、なんとちょうどそのとき、三人の人が私たちがいた家の前に立っていたのです。カイサリアから私のところに遣わされた人たちでした。

11:12 そして御霊は私に、ためらわずにその人たちと一緒に行くように言われました。

そこで、ここにいる六人の兄弟たちも同行して、私たちはその人の家に入りました。

11:13 すると、その人は、御使いが自分の家の中に立っているのを見たこと、そして次のように語ったことを私たちに話してくれました。『ヤッファに人を遣わして、ペテロと呼ばれるシモンを招きなさい。

11:14 その人が、あなたとあなたの家の者たち全員を救うことばを、あなたに話してくれませう。』

11:15 そこで、私が話し始めると、聖霊が最初に私たちの上に下ったのと同じように、彼らの上に下ったのです。

11:16 私は主が、『ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたがたは聖霊によるバプテスマを授けられる』と言われたことばを思い起こしました。

11:17 ですから、神が、私たちが主イエス・キリストを信じたときに私たちに下さったのと同じ賜物を、彼らにもお授けになったのなら、どうして私などが、神がなさることを妨げることができるでしょうか。」

11:18 人々はこれを聞いて沈黙した。そして「それでは神は、いのちに至る悔い改めを異邦人にもお与えになったのだ」と言って、神をほめたたえた。

神様のわざが進むときには、時として信仰の間からも批判や反対者が起こります。しかしそれは一致のためのプロセスです。皆が主のために生きようとするなら、必ずキリストの体が生かされるような方向に一致できるものです。

ペテロは反対者に対して私心を持たずに、ただ

神のみわざの証しをしました。「ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたがたは、聖霊によってバプテスマを授けられる。」というみことば、と主のみわざ、そして2人に与えられた一致です。

それで非難していた人々も、主のみこころを知ることができましたし、その結果みな一致し、さらには「神をほめたたえた」のです。ペテロにはそれで十分でした。非難されることは不愉快ですが、私心を持たずに神の御心かなることを喜びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

